

神奈川 山梨教会連合会報

かりん

年頭あいさつ

連合会長 須賀院 明 徳



すがすがしい新年をお元気で、お迎えになられたことと思います。

昨年は、基本方針

「金光大神の信心を今の世に生き生きと求め現す」をもとに、信奉者の交流および教会活動の充実を図ることを目的として、それぞれの部において鋭意に活動を進めて参りました。

改めて振り返りますと、単一教会で出来ない事が、教会の垣根を越え、一同に会することによって、実現出来た一年であったと思います。そしてその一つ一つの集会を通して、横のつながりを生み出すこと、更には、人材の発掘・育成をしていくことの素地ができてきた感があります。

また、連合会の動きが、よく見えないと言われたことを踏まえて『かりん』発行の合間に『連合会通信』を発行させて頂き、

少しでも情報開示をさせて頂くことに努めて参りました。

しかし、「開かれた連合会」になるには、まだまだいろいろな課題が山積しています。当連合会は21教会の集合であります。各教会の現状が様々であることから、ニーズも様々であります。その中で何かことを進めて行くことは、時に難しさを感じざるを得ません。また、人材の育成・人材の発掘は、永遠の課題であります。

それでは、そうした課題をこれからどう具体化させるかということになるかと思えます。

まずは、「開かれた連合会」に向けて、皆様にいろいろなご意見を出して頂き、積極的に連合会に参画して頂きたいと思えます。

そのためには、教師部・信徒部・布教部・育成部そして総務部が常に連携しあって活動を進めて参りたい。そして何より、参加して良かったと言われるような企画行事を考えて行きたい。

このようなことを鑑みながら、教師・信徒が一つ心になって、活発な連合会を目指したいと存じます。

皆様のご理解とご協力がなければ、実現化して参りません。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

教主金光様のお言葉

(金光教年頭ラジオ放送から)

明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、仕事や家庭生活、また健康のことなど、それぞれに願いを新たにされたことと思います。

金光教の教主・金光大神様は、人間をはじめ万物は、「大いなる天地」すなわち神様からのちを与えられて生きていること、とりわけ人間は、神のいとし子として、互いにかかり合い、助け合う関係にあると説かれました。私たち人間が、そのことを自覚し、お互いのいのちを認め、尊び、共に助け合っていくことが、神様の切なる願いなのです。

私たちの周りには、太陽の光や空気、水など、私たちが生かそうとする大いなる天地のはたらきが満ちています。そればかりではありません。家族や友人など、かわり合う多くの人に支えられて生きているのです。

今日、若者をはじめ、多くの人々は、生きる確かなよりどころを見出せず、また、孤独感を抱えながら生活しているのではないのでしょうか。それだけに、私たち一人ひとりが大いなる天地のはたらきによって生かされて生きているという、いのちの根源に思いを寄せることが大切であると思います。改めて、大いなる天地に生かされる者同士であることを自覚し、互いの違いを認め、尊び、共に支え合う生き方を進め、そこから世界の平和と人類の助かりが生み出されることを念願してやみません。

(金光新聞1月1日号より抜粋)

総 会 報 告

去る十二月十七日神奈川教会に於いて、神奈川山梨教会連合会の平成十八年度総会が開催され、平成十七年度事業報告・決算案、平成十八年度事業計画・予算案が審議され、承認を得ました。

【平成十八年度 事業計画】

▼基本方針

金光大神の信心を

今の世に生き生きと求め現す。

▼活動方針

(1) 信奉者の交流及び

教会活動の充実を図る。

(2) 他連合会との連携を図り、

首都圏布教を推進する。

▼事業計画

(1) 平成十九年度総会の開催

平成十八年度事業報告・決算案、十九年度事業計画・予算案の審議と承認

開催日 平成十九年一月二十七日(土)

会 場 神奈川教会

運営委員会の開催

(2) 連合会に関わる全般について審議し、

事業を円滑に進める。

地域活動の推進

(3) 地域活動の推進

願い①地域社会に金光大神の信心を現す。

②人材の発掘・育成及び教会活動の

充実に資する。

願いに向けて、教会間での信奉者の交流の場を検討し、将来の地域活動の基盤作りを図る。

(4) 連合会だより『かりん』と

『連合会通信』の発行

『かりん』は年4回発行。連合会内の動き等を含めて編集してゆく。『連合会通信』は適宜発行。

社会活動の推進

(5) 災害救援活動の情報発信・収集窓口を

作る。

①各教会での活動を調査し、情報交換の定期的な集まりを開催する。

②複数教会による共同作業の可能性を探る。

③「親子のつどい」の開催

レクリエーションを通して、世代を超えた交流を図る。八月十九日開催予定

④「女性のつどい」の開催

趣味を生かした活動を通して、教会の枠を超えた交流の輪を広げる。

⑤六月二十九日開催予定

教師部活動

①「教師会」の開催（6回を予定）

②一泊研修会の開催

③「教師家庭婦人の会」の開催

④「教師・信徒懇談会」の開催

⑤「教師・信徒懇談会」の開催

⑥「教師・信徒懇談会」の開催

⑦「教師・信徒懇談会」の開催

⑧「教師・信徒懇談会」の開催

⑨「教師・信徒懇談会」の開催

⑩「教師・信徒懇談会」の開催

テーマ 金光教の活性化（次頁中段へ）

魅力的な高齢者になろう

私は、ボランティアや民生委員の仕事を通じて、高齢者の方と関わることが多いのですが、高齢者にもいろいろなタイプの方がいるなあ、と感じます。「今頃、何言っているの。当たり前じゃない」と言われるかと思いますが、若かった頃の私は、高齢者の方を年をとって体力気力の衰えた人、弱い人、労らねばならない人、という一括りの捉え方をしていたのです。これを読んで下さっている方の中にも、若い方なら、そういう一元的な見方をなさるのではないのでしょうか。

高齢者にもいろいろなタイプの方がいらっしゃると思います。若い者に負けない体力気力があり、未だ現役で仕事をしている、仕事を持たないまでも何かしら社会と積極的に関わっている、労るなんてとんでもない、反対にこちらが労られそうな方がおられます。反面、若い頃の私を感じていたように、体力気力が衰えて労らねばならない人もおられるのです。

好奇心旺盛で、何事にも積極的に関わっていく人と、もう私は年寄りだから、そんなことは出来ないわと消極的な方がいらっしやるとして、大体前者のタイプは、よく笑い、よく話し、その内容が次の旅行の計画だったり、今晚食べたいおかずの話だっ

これからの教会連合会について

・「道」を思う心、検証!

希望に満ちた新たな年を迎え、ここからの連合会活動の上に、更なる展開を期待させて頂くと共に、先頭に立って活動を担うスタッフ諸氏のご苦勞に改めて敬意を表したい。

近時、教内外に顕在する実情は極めて厳しいものであり、何処をとっても容易ならざる課題が山積状態にある。明るい話題に包まれる機会が少なく、頭を抱え、眉間にしわを寄せざるを得ない事柄ばかりである。ご信心をさせて頂くお互いとして、これは憂うべき状況であると言わざるを得ない。そうとして、かかる状況下で陥り易いのが保身の姿勢ということになる。教会長教師は教会の維持運営に汲々とし、信徒は教義をおいて世俗の価値に翻弄される。

つまり、出口の見え難い山積する課題の糸口を模索する事にエネルギーを費やすよりは、身近な立ち所を固めたいということになり易い訳である。もとより、立ち所を固めるのは大切なことであるが、教会間の連帯意識の高揚や教徒一体による活動の推進、協調性や課題の共有などの必要性が叫ばれても、保身の域を越え難い姿勢や言動が散見され、そこに心血を注ぐ意欲は悲

しいかな希薄と言わざるを得ない。

新年早々の暴言かも知れないが、そこにメスが入らない限り、連合会活動の活路も「道」の展開も見出せない思いがする。

手放して昔を評価する気はないが、物の無い慎ましい生活の中で活き活きと信心を進め、個の助かりをおいて先ず「道」の展開を願うという信心姿勢。それが自らの救いになるとの信心に燃え、おかげを蒙ってこられた先輩教師・信徒諸氏の信心姿勢には、真実、頭が下がるのである。今日、その恩恵にあることを忘れてはならない。「道は人が開け、おかげは神が授ける」とのみ教えを、共に頂き直すべきではなからうか。

諸氏の厳しい叱正を賜りたい。

(横須賀教会 木本 紀 義)

(前頁から続く)

七月二十九日開催予定

② 「講話と夕食の会」の開催

十二月十六日開催予定

③ 信徒部会の開催

金光教を考える会報告書の作成と検討

(10) 首都圏フォーラム活動への協賛

(11) 神奈川県宗教連盟活動への協賛

たりして、近未来のことが多い。対して後者は、あまり笑わず、話の内容も昔の思い出、中でも苦勞話が多いのです。表情も尻の笑いじわと、眉間の縦じわに分かれるような気がします。

で、私に限らず、どちらのタイプが好きかというところ、それは今更申し上げるまでもないでしょう。

年をとると誰でも体力は弱ってくるのですが、過去に捉われず、近未来に頭を使うということに力を入れたことが出来るような気がします。そして、もう一つ誰とも楽しそうに会話をしている人、いつも周りに友人がいる人を観察すると、積極的に好奇心旺盛という特徴のほかに、相手の話をよく聞くという特徴があるように思うのです。会話はピンポンやテニスのように、ラリーの応酬があるから楽しいのです。一方的に聞かされる、しかもそれが苦勞話や愚痴だったら……、結果はわかりきっています。

私自身が間もなく、自治体で認められている高齢者への仲間入りをしますが、日頃観察して感じたことを、忘れないようにしたい、つまり、過去に捉われずに近未来のことに関心を持つ、相手の話をよく聞く、ということに心がけたいと思っています。

(神奈川県教会 大塚 東子)

教師部会報告

平成17年度の教師部会では、「現代社会が抱えている問題をテーマ化し、信仰的な視座で捉えらるとともに、あるべき姿、助かりの世界を見出して行きたい」との願いのもと、今年度は、身近であり生活の基盤である「家族・家庭」に焦点をあてて、発題を受け協議懇談することとした。

特に、問題を自分の体験や主観で捉えるのではなく、客観的な視点に立って捉えて行きたいとの願いがあった。

・第1回 木本紀義師より「家族(家庭)の基本的概念」

・第2回 奥川美智雄師より「金光教にみる家庭・家族観」

・第3回 牧野真幸師より「教会における家族(家庭)」

・第4回 横山光雄師より「認知症と家族」

・第5回 福田光一師より「社会を作る基本が家族」

以上のようなテーマのもと、それぞれが思うところを語り合ったが、今日の社会構造や価値観の多様化、更に親子観、結婚観、生活観等が様々な形で変貌しており、単純に家族・家庭を捉えることは難しく、来年度(18年)も新たな視点をもって教師会を進めて行くこととなった。

第十三回首都圏『女性の集い』

日時 平成十八年二月十二日(日)

午後一時から四時三十分まで

場所 金光教館「イーストホール」

(東京教会 千代田区神田和泉町)

一番地 ☎03-3866-7497

講演 「人、一人助ければ、一人の神」
講師 畑 和子先生

(日本橋教会副教会長)

参加費 五〇〇円(研修会賄費、当日徴収)
申込み 教会へ送付済みの開催要項に従って、教会毎にまとめて(個人でも可)平成18年1月31日必着で、関東信事務局「女性の集い」係までお願いいたします。

その他 12時30分より受付開始
昼食は各自でお済ませ下さい。

☆本部広前における主な儀式の執行日時☆

▼天地金乃神大祭

4月2日(日) 9時30分より
4日(火)、8日(土)、10日(月)は 各日共 13時30分より

▼教団独立記念祭

6月11日(日) 13時30分より

▼生神金光大神大祭

10月1日(日) 9時30分より
4日(水)、8日(日)、10日(火)は 各日共 13時30分より

各日共 13時30分より

〈な・が・れ〉

信心の喜びを伝えましょう

相模原教会 山田 光治

「事件は会議室で起きているんじゃない、現場で起きているんだ」映画『踊る大捜査線』の中で、犯人確保に踏み込むか否かのタイミングの判断をめぐって、現場で張り込む所轄の刑事と、会議室から指示を出す特捜本部との緊張関係が最高潮に達した時に叫ばれる青島刑事の台詞。信心の世界でも、映画と同じ様な感動や感激を創造し、周囲の人々と共有化していくための具体策が望まれるところです。

「おかげは教会でいただくのではなく生活の現場でいただくのだ」と思わず叫んでみた。お道全体に活気が無いと言われて久しいが、活性化を担うのは、教会でも先生でもない。しっかり神様を頂いた信奉者自身の言動そのものである。

お道の将来は、信奉者が如何にして周囲の人々におかげを受けた喜びを素直に伝えられるか。信心の喜びを一人でも多くの人へ伝えたいと願い、実践していくところに金光教の弥栄(いやさか)が見えてくる。

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 須賀院 明德

編集責任者 横山 光雄

川崎市中原区小杉御殿町二一八二

〒211-0068 金光教武蔵小杉教会内